

2-M3-1 日本語

コンサルテーション・マネジメント
 ～ Multimorbidity 時代を生き抜くためのコンサルテーションの仕方・
 答え方～

Consultation Management

～ The Effective Consultation in the Era of Multimorbidity ～

南奈良総合医療センター総合内科 SHIKATEN 代表	天野 雅之
SHIKATEN メンバー	洛和会丸太町病院 長野 広之
	奈良県立医科大学附属病院 小林 正尚
	市立奈良病院 金岡幸嗣朗
	奈良県立医科大学附属病院 芥子 文香
	天理よろづ相談所病院 岡田 宜孝
	天理よろづ相談所病院 辻野 絵美
	市立奈良病院 野村 真里

Masayuki Amano, Minami-Nara General Medical Center/President of SHIKATEN
 Hiroyuki Nagano, Rakuwakai Marutamachi Hospital/members of SHIKATEN
 Tadanao Kobayashi, Nara Medical University Hospital/members of SHIKATEN
 Koshiro Kanaoka, Nara City Hospital/members of SHIKATEN
 Ayaka Keshi, Nara Medical University Hospital/members of SHIKATEN
 Nobutaka Okada, Tenri hospital/members of SHIKATEN
 Emi Tsujino, Tenri hospital/members of SHIKATEN
 Mari Nomura, Nara City Hospital/members of SHIKATEN

対象者 後期研修医 (卒後 3 年目以上)・初期研修医 (卒後 1-2 年目)・学生
 Target Senior resident (3+years after graduation)・Resident (1-2 years after graduation)・Medical student

日本の総合内科医は病棟・外来・在宅・診療所など多彩なフィールドで診療を行っており、多数の患者・医療スタッフに囲まれながら診療を行っています。また高齢化に伴い、一人の患者が多数の独立した健康問題を抱える「multimorbidity」の傾向はますます強まっています。そのため、担当患者が専門家の介入を必要とする問題を抱えたり、他科のドクターから内科的な問題に関する相談を受けたりすることは日常茶飯事であり、すなわち、我々がコンサルテーションに触れる機会は非常に多いといっても過言ではなく、若手内科医もその方法に習熟することは必須事項とも言えます。

しかしながら、日本においてはコンサルテーションに関するトレーニングの機会が十分とはいえない状況です。かろうじて、他科への相談の仕方に関しては on-the-job training の機会もあるかと思えます。ただし、コンサルテーションの全容を構造的に理解したり、依頼に対する返答の仕方を訓練したりする off-the-job training の機会に恵まれなかったという方は多いのではないのでしょうか。

そこで、コンサルテーションの基本構造の一部を見える化し、初学者でも効果的かつ建設的に紹介を行い、返事ができるよう、このセッションを企画しました。対象者としては、コンサルテーションの機会がこれから増えてくるけれども体系的に学んだことが無い医学生、研修医、若手医師などを想定していますが、どなたでもご参加いただけます。目指すべきアウトカムは、①コンサルテーションの機会に堂々と対峙できるようになる。②その場を双方にとっての生涯学習の場に出る。③その結果として患者利益を最大化できる。の3点です。これらを実現する方法として、戦略的なコンサルテーションを可能にするフレームワークをシェアしたのち、ケースを用いて皆様にコンサルティとコンサルタントの模擬体験をしていただくことでスキルの定着を図ります。

Multimorbidity 時代を生き抜くコンサルテーションスキルを、私たちと一緒に学修してみませんか？ 皆様の御参加をお待ちしております。

※ SHIKATEN は奈良県に縁のある医師の有志で構成される団体です。奈良県での初期・後期研修をより楽しく・充実したものにすべく、若手医師同士の繋がりを作ることを目的に活動しています。

Japan is an aging society. The elderly can easily have variety kinds of health problem in each person, it is so called “multimorbidity”. In this situation, doctors often encounter patients who have multiple difficult health problems to be managed by specialists (including General specialist, and lots kinds of professional medical staffs). This means that, in these days, “cooperation” is essential for providing the adequate medical management, and the “consultation” plays a critical role in this purpose.

Although there is some opportunity to learn about how to make a referral to specialists, little residents seem to have had a chance to figuring out the whole structure of consultation nor how to answer to the referral.

To overcome this situation, we decided to hold this session: the aim is to provide an opportunity to learn the basic structure of consultation and train your consultation skill. We would like to introduce useful frameworks in the head of this session. After that, case-based workshop is going to be held, which we believe will help you to establish your skill. We are looking forward to seeing you on this session.